

## 芦屋町祖父母学級の活動

～ 子ども達との交流を目指して ～

芦屋町山鹿公民館 香田一之

### 1 芦屋町の概要

#### (1) 概要

- ・町の中央を遠賀川が流れ、響灘に接する町
- ・古くからの歴史、文化が残る町（町制 122 年目）



～芦屋町の全景～



～はまゆう群生地～

#### (2) 特徴

- ・人口構成→過疎化進行
- ・年齢構成→高齢化進行

年	人口	65歳以上	75歳以上	高齢化率
平成18年	16,413	3,428	1,572	21%
平成19年	16,085	3,552	1,657	22%
平成20年	16,004	3,634	1,741	23%
平成21年	15,842	3,720	1,809	23%
平成22年	15,610	3,748	1,866	24%
平成23年	15,432	3,713	1,890	24%
平成24年	15,217	3,847	1,929	25%

### 2 祖父母学級の概要

#### (1) 設立の経緯と趣旨

- ・経緯：昭和43年、芦屋町教育委員会により設立。
- ・趣旨：豊富な知識と経験を持つ者同士が、楽しく学び、より深い社会性を身につける。

(2) 努力目標：「健康の保持、増進」、「相互の交流親睦、自己啓発」、「児童との異世代間交流の促進」、「芦屋町の歴史、文化、伝統の学習」

(3) 校区毎人数：3校区合計 161 名（男性 18 名、女性 145 名） ※79%が70歳代以上

### 3 活動紹介

(1) 健康増進                   ：グラウンドゴルフ、健康体操、健康料理教室等

- (2) 趣味を楽しむ : 絵手紙づくり、芦屋かるた、発声講座、手工芸品づくり等
- (3) 教養を高める : 芦屋釜見学、宗像大社研修、魚樂園研修、田川市石炭歴史博物館研修等
- (4) 交流を深める

#### 4 子ども達との交流

##### (1) ふれあい広場

- ・概要：山鹿小学校児童との交流を通じて児童への知識の継承及び社会意識の醸成を目指す
- ・活動：七夕飾りつけ（7月）、昔の遊び（10月）、クリスマス飾りづくり（12月）、たこづくり（1月）、ふれあい給食（2月）、ふれ合い集会（3月）



～七夕かざりつけ～



～昔の遊び～

##### (2) 山鹿まつり

- ・趣旨：児童を中心とした地域交流の活性化
- ・主催：PTA
- ・協力：校区育成会議、祖父母学級
- ・場所：山鹿小学校
- ・イベント内容：グラウンドゴルフ、折り紙教室、輪投げ、ボール投げ等

##### 祖父母学級協力内容（24年度）

- ・グラウンドゴルフ共催（育成会議）
  - \*1 ラウンド 4 ホール、4 コース設置
- ・折り紙教室主催
  - \*サンタクロースの折り紙作成
- ・児童参加数：472 名
  - \*グラウンドゴルフ 279 名、折り紙教室 193 名



～グラウンドゴルフ～



～折り紙教室～

## 5 成果

- (1) 学級生の自主性の向上 : 学級生による自主的な事前準備、情報収集
- (2) 学級生の積極性の向上 : イベント前の事前練習、事前打ち合わせ
- (3) 子ども達の社会意識醸成 : 上級生の手伝い参加、積極的な挨拶
- (4) 学級生相互の交流活発化



～クリスマスかざりづくりの事前打ち合わせ～

～折紙教室での上級生による受付の手伝い～

## 6 今後の課題と取り組み

- (1) 課題 : 「活動参加者の拡大・・・毎回、参加する顔ぶれが同じ」

\*学級生の半分以上が参加率 5 割以下 (ただし、最近参加し始めた人たちの参加率は良い)

参加回数	人数	備考
11回	3人	
10回	1人	
9回	4人	
8回	4人	
7回	1人	
6回	9人	
5回	4人	
4回	5人	内3人は9月以降の参加
3回	3人	内2人は9月以降の参加
2回	7人	内5人は9月以降の参加(そのうち3人は新級生)
1回	4人	内3人は9月以降の参加(そのうち3人は新級生)
0回	9人	
合計	54人	

- (2) 取り組み : 「参加してよかったと思う環境づくり」

- 学級生個々の把握～興味の方向を知る
  - 学級生個々の趣味、特技を知る
  - 交友関係を知る
- 充実感の醸成～やりがい、達成感を醸成する
  - 適材適所に留意
  - 適切なサポート
- 交流促進機会の設定～一緒にいると楽しいと思う場の設定



芦屋町公民館キャラクター  
「コーミン」